

日興グラビティ・アメリカズ・ファンド 〈愛称 ビバ・アメリカズ〉

運用報告書（全体版）

第10期（決算日 2022年9月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「日興グラビティ・アメリカズ・ファンド」は、2022年9月27日に第10期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|--|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 2012年12月27日から2027年9月27日までです。 | |
| 運用方針 | 主として「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要運用対象 | 日興グラビティ・アメリカズ・ファンド | 「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | パン・アメリカ株式マザーファンド | 北米および中南米各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 日興グラビティ・アメリカズ・ファンド | 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 |
| | パン・アメリカ株式マザーファンド | 株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 | |

<653292>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | MSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース) | | 株式組入比率 | 投資信託組入比率 | 純資産額 |
|-----------------|--------|---------------|---------------|----------------------------------|---------|--------|----------|-------|
| | (分配落) | 税込 分配 金 | 期中 騰落 率 | (参考指数) | 騰落 率 | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 6期(2018年9月27日) | 19,399 | 200 | 16.5 | 270.41 | 16.8 | 94.5 | 2.0 | 8,185 |
| 7期(2019年9月27日) | 17,838 | 200 | △ 7.0 | 268.45 | △ 0.7 | 94.6 | 2.0 | 6,423 |
| 8期(2020年9月28日) | 18,420 | 200 | 4.4 | 294.19 | 9.6 | 95.1 | 2.5 | 5,370 |
| 9期(2021年9月27日) | 25,379 | 200 | 38.9 | 423.90 | 44.1 | 93.9 | 4.0 | 6,150 |
| 10期(2022年9月27日) | 26,450 | 200 | 5.0 | 450.43 | 6.3 | 97.9 | 0.2 | 6,045 |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「MSCI ACアメリカズ指数」は、「MSCI Inc.」が発表している、南北アメリカ大陸の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の(ヘッジなし、円換算ベース)とは、米ドル建ての指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2022年9月27日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | MSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース) | | 株式組入比率 | 投資信託組入比率 |
|--------------------|--------|-------|----------------------------------|-------|--------|----------|
| | 騰落率 | 騰落率 | | | | |
| (期首) 2021年9月27日 | 円 | % | | % | % | % |
| 9月末 | 25,379 | — | 423.90 | — | 93.9 | 4.0 |
| 10月末 | 25,171 | △ 0.8 | 418.40 | △ 1.3 | 94.0 | 4.0 |
| 11月末 | 26,195 | 3.2 | 448.86 | 5.9 | 95.1 | 2.6 |
| 12月末 | 26,321 | 3.7 | 452.83 | 6.8 | 96.8 | 1.3 |
| 2022年1月末 | 27,363 | 7.8 | 468.91 | 10.6 | 96.4 | 1.4 |
| 2月末 | 25,899 | 2.0 | 434.47 | 2.5 | 95.3 | 1.6 |
| 3月末 | 25,780 | 1.6 | 432.42 | 2.0 | 96.9 | 1.5 |
| 4月末 | 28,342 | 11.7 | 481.77 | 13.7 | 97.1 | 0.6 |
| 5月末 | 27,216 | 7.2 | 459.50 | 8.4 | 96.1 | 0.9 |
| 6月末 | 27,473 | 8.3 | 454.78 | 7.3 | 98.5 | — |
| 7月末 | 26,503 | 4.4 | 444.58 | 4.9 | 97.7 | — |
| 8月末 | 27,502 | 8.4 | 466.04 | 9.9 | 97.4 | — |
| (期末) 2022年9月27日 | 28,080 | 10.6 | 471.71 | 11.3 | 97.5 | — |
| | 26,650 | 5.0 | 450.43 | 6.3 | 97.9 | 0.2 |

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

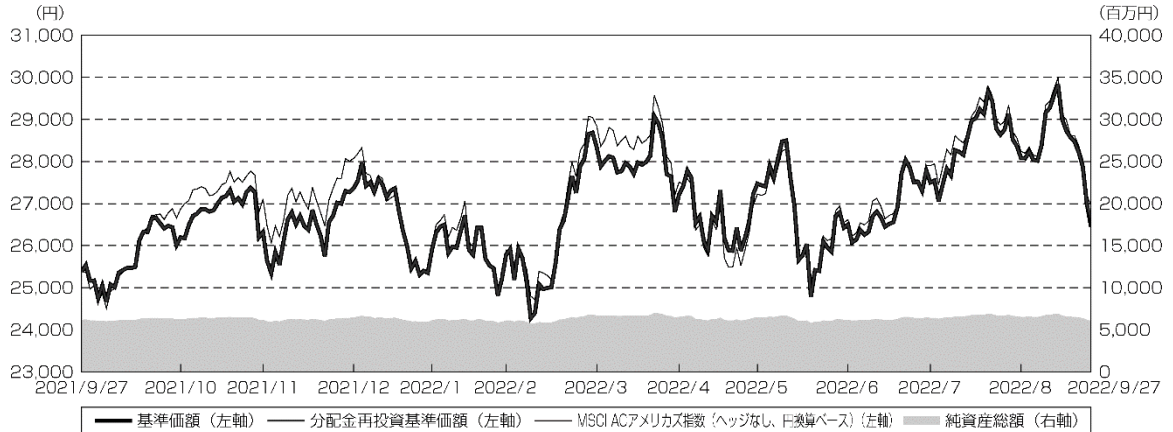
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2021年9月28日～2022年9月27日)

期中の基準価額等の推移



期 首 : 25,379円
 期 末 : 26,450円 (既払分配金 (税込み) : 200円)
 騰 落 率 : 5.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース) は、期首 (2021年9月27日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、北米および中南米各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業の発行する株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・新型コロナウイルスのオミクロン株に対する懸念が後退したこと。
- ・割安なバリュエーション (株価評価) にあった銘柄 (企業) の株価が、経済活動の正常化に伴って見直され上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めを受け米国長期金利が上昇したほか、マクロ経済の先行きが懸念されたこと。
- ・巣ごもり需要に支えられて上昇した情報技術セクターの銘柄が、経済活動再開によって成長が鈍化すると懸念され、株価が下落したこと。

投資環境

（株式市況）

当期間の米国株式市場は、高止まりするインフレや、FRBによる利上げやそれに伴う長期金利の上昇、長期化するロシアとウクライナとの間の紛争、そして新型コロナウイルスの感染拡大によるサプライチェーン（供給網）の混乱などに対する懸念が高まり下落しました。

2021年9月末から11月上旬までは、インフレに対する懸念は根強かったものの、米国株式市場は比較的堅調に推移しました。またその後も、インフレ抑制のためFRBによるテーパリング（量的緩和の縮小）の加速や利上げの早期開始などへの懸念が高まったものの、12月には、新型コロナウイルスのオミクロン株に対する懸念が後退するなか、こうした懸念を乗り越え、米国株式市場は値を保ちました。

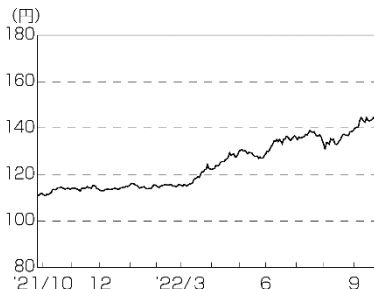
しかし2022年1月には、依然としてインフレが高止まりしていることから、FRBの利上げや資産圧縮に対する懸念が高まり、米国株式市場は大きく下落しました。また、2月下旬にはロシアがウクライナへの侵攻を開始したことが景気の先行きに更に影を落としました。その後、一時的に反発する局面もあったものの、中国のゼロコロナ政策継続による「モノ不足」解消の遅れ、インフレが長期化したことによるFRBの利上げ加速、ロシアとウクライナとの間の紛争の長期化といった懸念材料が嫌気され全体的に下落基調となりました。

7月には、想定を超えるインフレに対してFRBが急速に利上げを行なってきたことで、2023年にはインフレが抑制されるだけでなく、景気後退に陥るとの懸念が高まりました。しかしこれが、早ければ2023年央から下期にかけて利下げが行なわれるとの観測に繋がり、米国株式市場は反発しました。8月前半の米国株式市場は前月からの好調を維持したものの、8月下旬にパウエルFRB議長がインフレ抑制のために金融引き締めを続ける旨の発言を行なったことで反落しました。その後も債券利回りが上昇しリスクオフに傾くなか、企業業績悪化懸念なども相まって、株式市場は軟調な展開での越期となりました。

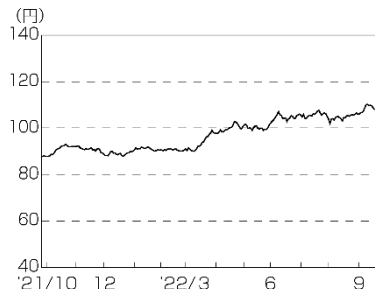
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

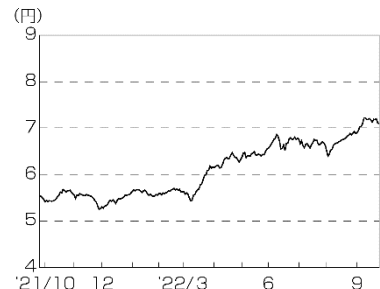
円／アメリカドルの推移



円／カナダドルの推移



円／メキシコペソの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(パン・アメリカ株式マザーファンド)

米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や銘柄毎の成長性、グラビティ効果、流動性などを勘案して行ないました。

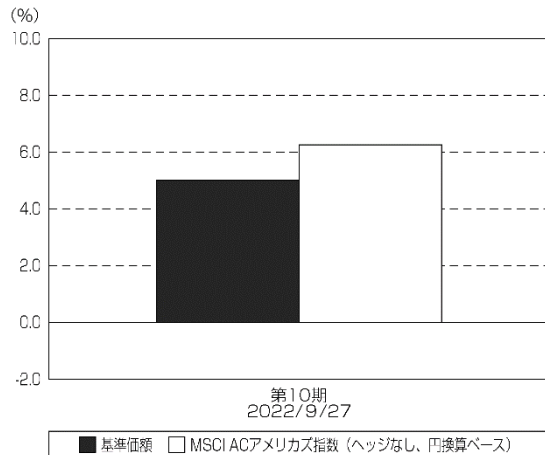
各国の金融政策の行方や政治情勢（含むロシアとウクライナとの間の紛争）、また新型コロナウイルスの感染動向など、グローバルなマクロ環境を分析したうえで銘柄選択に注力しました。当期間はヘルスケアセクターや金融セクターなどで活発な売買を行ないました。また過去に株価が大きく上昇し、時価総額が特に大きくなっていた銘柄の一部には消極姿勢で臨みました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCI ACアメリカズ指数（ヘッジなし、円換算ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第10期 |
|-----------|---------------------------|
| | 2021年9月28日～ 2022年9月27日 |
| 当期分配金 | 200 |
| (対基準価額比率) | 0.750% |
| 当期の収益 | 200 |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 16,450 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(パン・アメリカ株式マザーファンド)

ロシアとウクライナとの間の紛争に伴ない、欧州を中心に世界的なエネルギー価格高騰や経済成長の減速による景気後退リスクが続いています。欧州では、今後、新たなガス供給契約や新規の発電プロジェクトが実現するまでに何年もかかるとみられます。一方で、電力価格は大きく上昇しており消費者には負担となっています。

中国と台湾の緊張は続いており、平和的な解決が近いうちに行なわれる可能性は低いことを浮き彫りにしています。

米国では、急激な景気後退に対する懸念が2022年4－6月期の市場に影響を与えました。個人消費には弱い部分があるものの、労働市場は力強さが見られます。

このような環境下、金利上昇が有利に働きそして魅力的なバリュエーションにある金融セクターに積極姿勢で臨みます。また米国の複合企業大手のような個別にアップサイドが見込まれる優良企業にも積極姿勢で臨みます。一方で、公益、不動産セクターなどには消極姿勢で臨みます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年9月28日～2022年9月27日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|-------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 525 | 1.958 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (251) | (0.935) | 委託した資金の運用の対価 |
| （ 販 売 会 社 ） | (251) | (0.935) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| （ 受 託 会 社 ） | (24) | (0.088) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 9 | 0.033 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （ 株 式 ） | (8) | (0.031) | |
| （ 投 資 信 託 証 券 ） | (0) | (0.002) | |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 0 | 0.001 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （ 株 式 ） | (0) | (0.001) | |
| （ 投 資 信 託 証 券 ） | (0) | (0.000) | |
| (d) そ の 他 費 用 | 15 | 0.055 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 保 管 費 用 ） | (7) | (0.024) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （ 監 査 費 用 ） | (1) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （ 印 刷 費 用 ） | (7) | (0.027) | 印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用 |
| 合 計 | 549 | 2.047 | |
| 期中の平均基準価額は、26,820円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

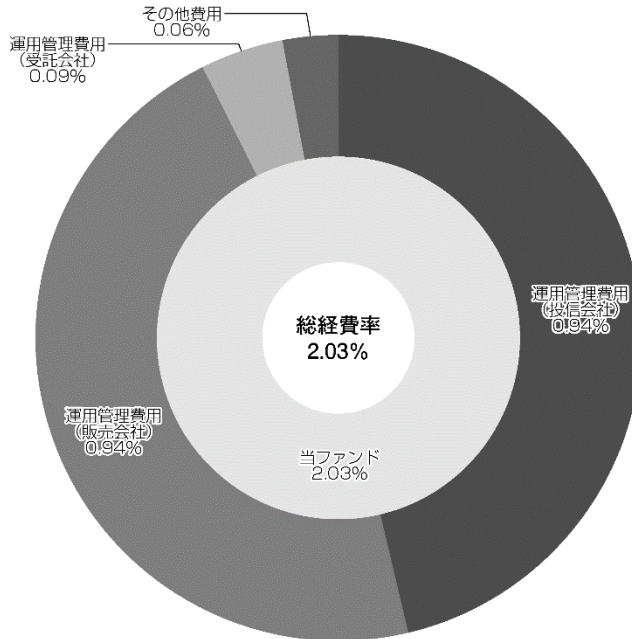
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年9月28日～2022年9月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 設定 | | 解約 | |
|------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| パン・アメリカ株式マザーファンド | 千口 110,465 | 千円 405,017 | 千口 259,423 | 千円 951,525 |

○株式売買比率

(2021年9月28日～2022年9月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 | |
|---------------------|------------------|--|
| | パン・アメリカ株式マザーファンド | |
| (a) 期中の株式売買金額 | 5,747,674千円 | |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 6,108,432千円 | |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.94 | |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年9月28日～2022年9月27日)

利害関係人との取引状況

<日興グラビティ・アメリカズ・ファンド>

該当事項はございません。

<パン・アメリカ株式マザーファンド>

| 区分 | 買付額等 A | | | 売付額等 C | | |
|--------|-----------------|---------------|-----------|-----------------|---------------|-----------|
| | うち利害関係人との取引状況 B | $\frac{B}{A}$ | | うち利害関係人との取引状況 D | $\frac{D}{C}$ | |
| 為替直物取引 | 百万円 269 | 百万円 200 | % 74.3 | 百万円 818 | 百万円 749 | % 91.6 |

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年9月28日~2022年9月27日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年9月28日~2022年9月27日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年9月27日現在)

親投資信託残高

| 銘 柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | |
|------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| パン・アメリカ株式マザーファンド | 1,801,751 | 1,652,793 | 5,986,254 |

(注) 親投資信託の2022年9月27日現在の受益権総口数は、1,652,793千口です。

○投資信託財産の構成

(2022年9月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | 比 率 |
|------------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | |
| | 千円 | % |
| パン・アメリカ株式マザーファンド | 5,986,254 | 97.2 |
| コール・ローン等、その他 | 172,493 | 2.8 |
| 投資信託財産総額 | 6,158,747 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) パン・アメリカ株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,959,094千円)の投資信託財産総額(6,028,825千円)に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=144.51円、1カナダドル=105.60円、1メキシコペソ=7.103円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|------------------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 6,158,747,755 |
| コール・ローン等 | 129,911,744 |
| パン・アメリカカ株式マザーファンド(評価額) | 5,986,254,505 |
| 未収入金 | 42,581,506 |
| (B) 負債 | 113,074,703 |
| 未払収益分配金 | 45,713,227 |
| 未払解約金 | 2,204,491 |
| 未払信託報酬 | 63,332,251 |
| 未払利息 | 222 |
| その他未払費用 | 1,824,512 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 6,045,673,052 |
| 元本 | 2,285,661,358 |
| 次期繰越損益金 | 3,760,011,694 |
| (D) 受益権総口数 | 2,285,661,358口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 26,450円 |

(注) 当ファンドの期首元本額は2,423,549,015円、期中追加設定元本額は235,864,596円、期中一部解約元本額は373,752,253円です。

(注) 1口当たり純資産額は2.6450円です。

○損益の状況 (2021年9月28日～2022年9月27日)

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 13,102 |
| 受取利息 | 59 |
| 支払利息 | △ 13,161 |
| (B) 有価証券売買損益 | 378,388,478 |
| 売買益 | 441,281,828 |
| 売買損 | △ 62,893,350 |
| (C) 信託報酬等 | △ 126,036,790 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 252,338,586 |
| (E) 前期繰越損益金 | 2,502,441,310 |
| (F) 追加信託差損益金 | 1,050,945,025 |
| (配当等相当額) | (921,973,831) |
| (売買損益相当額) | (128,971,194) |
| (G) 計(D+E+F) | 3,805,724,921 |
| (H) 収益分配金 | △ 45,713,227 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 3,760,011,694 |
| 追加信託差損益金 | 1,050,945,025 |
| (配当等相当額) | (922,354,104) |
| (売買損益相当額) | (128,590,921) |
| 分配準備積立金 | 2,709,066,669 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2021年9月28日～2022年9月27日の期間に当ファンドが負担した費用は31,362,019円です。

(注) 分配金の計算過程(2021年9月28日～2022年9月27日)は以下の通りです。

| 項 目 | 2021年9月28日～ 2022年9月27日 |
|------------------------------|---------------------------|
| a. 配当等収益(経費控除後) | 61,232,198円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 191,106,388円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 1,050,945,025円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 2,502,441,310円 |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d) | 3,805,724,921円 |
| f. 分配対象収益(1万口当たり) | 16,650円 |
| g. 分配金 | 45,713,227円 |
| h. 分配金(1万口当たり) | 200円 |

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

| | |
|------------------|------|
| 1 万口当たり分配金 (税込み) | 200円 |
|------------------|------|

○お知らせ

約款変更について

2021年9月28日から2022年9月27日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、その商品性、基準価額水準および純資産規模等を勘案し、信託期間を5年更新して信託終了日を2027年9月27日とするべく、2021年12月28日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行いました。(第4条)

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

パン・アメリカ株式マザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2022年9月27日）
（2021年9月28日～2022年9月27日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 信託期間 | 2012年12月27日から原則無期限です。 |
| 運用方針 | 主として、北米および中南米各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、米国経済の隆盛の恩恵を受けると考えられる企業の発行する株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要運用対象 | 北米および中南米各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |

ファンド概要

主として、北米および中南米各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、米国経済の隆盛の恩恵を受けると考えられる企業の発行する株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や各銘柄毎の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | MSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース) (参考指数) | | 株組入比率 | 投資信託 組入比率 | 純資産額 |
|-----------------|--------|-------|--|-------|-------|--------------|-------|
| | 期騰 | 期中率 | 騰落 | 中率 | | | |
| | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 6期(2018年9月27日) | 23,585 | 19.1 | 270.41 | 16.8 | 95.2 | 2.0 | 8,126 |
| 7期(2019年9月27日) | 22,340 | △ 5.3 | 268.45 | △ 0.7 | 95.7 | 2.0 | 6,350 |
| 8期(2020年9月28日) | 23,792 | 6.5 | 294.19 | 9.6 | 95.8 | 2.5 | 5,328 |
| 9期(2021年9月27日) | 33,818 | 42.1 | 423.90 | 44.1 | 94.8 | 4.0 | 6,093 |
| 10期(2022年9月27日) | 36,219 | 7.1 | 450.43 | 6.3 | 98.9 | 0.2 | 5,986 |

(注) 「MSCI ACアメリカズ指数」は、「MSCI Inc.」が発表している、南北アメリカ大陸の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の(ヘッジなし、円換算ベース)とは、米ドル建ての指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2022年9月27日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | MSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース) (参考指数) | | 株組入比率 | 投資信託 組入比率 |
|--------------------|--------|-------|--|-------|-------|--------------|
| | 騰落 | 騰落率 | 騰落 | 騰落率 | | |
| (期首) 2021年9月27日 | 円 | % | | % | % | % |
| | 33,818 | — | 423.90 | — | 94.8 | 4.0 |
| 9月末 | 33,542 | △ 0.8 | 418.40 | △ 1.3 | 94.9 | 4.1 |
| 10月末 | 34,972 | 3.4 | 448.86 | 5.9 | 95.9 | 2.6 |
| 11月末 | 35,200 | 4.1 | 452.83 | 6.8 | 97.8 | 1.4 |
| 12月末 | 36,672 | 8.4 | 468.91 | 10.6 | 97.7 | 1.4 |
| 2022年1月末 | 34,763 | 2.8 | 434.47 | 2.5 | 97.0 | 1.6 |
| 2月末 | 34,659 | 2.5 | 432.42 | 2.0 | 97.7 | 1.5 |
| 3月末 | 38,192 | 12.9 | 481.77 | 13.7 | 98.5 | 0.6 |
| 4月末 | 36,712 | 8.6 | 459.50 | 8.4 | 97.3 | 1.0 |
| 5月末 | 37,128 | 9.8 | 454.78 | 7.3 | 99.5 | — |
| 6月末 | 35,866 | 6.1 | 444.58 | 4.9 | 98.7 | — |
| 7月末 | 37,286 | 10.3 | 466.04 | 9.9 | 98.4 | — |
| 8月末 | 38,145 | 12.8 | 471.71 | 11.3 | 98.5 | — |
| (期末) 2022年9月27日 | | | | | | |
| | 36,219 | 7.1 | 450.43 | 6.3 | 98.9 | 0.2 |

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年9月28日～2022年9月27日)

基準価額の推移

期間の初め33,818円の基準価額は、期間末に36,219円となり、騰落率は+7.1%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・新型コロナウイルスのオミクロン株に対する懸念が後退したこと。
- ・割安なバリュエーション（株価評価）にあった銘柄（企業）の株価が、経済活動の正常化に伴って見直され上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めを受け米国長期金利が上昇したほか、マクロ経済の先行きが懸念されたこと。
- ・巣ごもり需要に支えられて上昇した情報技術セクターの銘柄が、経済活動再開によって成長が鈍化すると懸念され、株価が下落したこと。



| 期首 | 期中高値 | 期中安値 | 期末 |
|------------|------------|------------|------------|
| 2021/09/27 | 2022/09/13 | 2022/03/08 | 2022/09/27 |
| 33,818円 | 40,572円 | 32,628円 | 36,219円 |

基準価額（指数化）の推移



MSCI ACアメリカス指数（ヘッジなし、円換算ベース）（指数化）の推移



(株式市況)

当期間の米国株式市場は、高止まりするインフレや、FRBによる利上げやそれに伴う長期金利の上昇、長期化するロシアとウクライナとの間の紛争、そして新型コロナウイルスの感染拡大によるサプライチェーン（供給網）の混乱などに対する懸念が高まり下落しました。

2021年9月末から11月上旬までは、インフレに対する懸念は根強かったものの、米国株式市場は比較的堅調に推移しました。またその後も、インフレ抑制のためFRBによるテーパリング（量的緩和の縮小）の加速や利上げの早期開始などへの懸念が高まったものの、12月には、新型コロナウイルスのオミクロン株に対する懸念が後退するなか、こうした懸念を乗り越え、米国株式市場は値を保ちました。

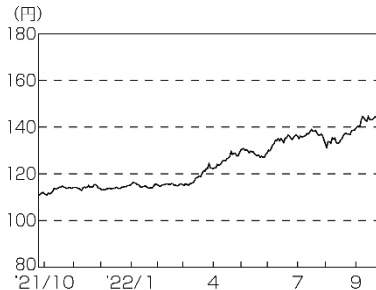
しかし2022年1月には、依然としてインフレが高止まりしていることから、FRBの利上げや資産圧縮に対する懸念が高まり、米国株式市場は大きく下落しました。また、2月下旬にはロシアがウクライナへの侵攻を開始したことが景気の先行きに更に影を落としました。その後、一時的に反発する局面もあったものの、中国のゼロコロナ政策継続による「モノ不足」解消の遅れ、インフレが長期化したことによるFRBの利上げ加速、ロシアとウクライナとの間の紛争の長期化といった懸念材料が嫌気され全体的に下落基調となりました。

7月には、想定を超えるインフレに対してFRBが急速に利上げを行ってきたことで、2023年にはインフレが抑制されるだけでなく、景気後退に陥るとの懸念が高まりました。しかしこれが、早ければ2023年央から下期にかけて利下げが行なわれるとの観測に繋がり、米国株式市場は反発しました。8月前半の米国株式市場は前月からの好調を維持したものの、8月下旬にパウエルFRB議長がインフレ抑制のために金融引き締めを続ける旨の発言を行なったことで反落しました。その後も債券利回りが上昇しリスクオフに傾くなか、企業業績悪化懸念なども相まって、株式市場は軟調な展開での越期となりました。

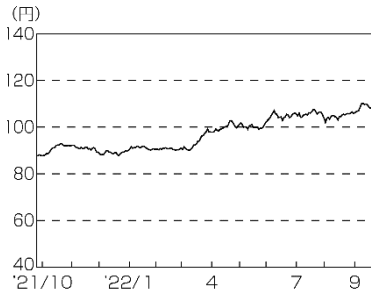
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／カナダドルの推移



円／メキシコペソの推移



当ファンドのポートフォリオ

米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や銘柄毎の成長性、グラビティ効果、流動性などを勘案して行ないました。

各国の金融政策の行方や政治情勢（含むロシアとウクライナとの間の紛争）、また新型コロナウイルスの感染動向など、グローバルなマクロ環境を分析したうえで銘柄選択に注力しました。当期間はヘルスケアセクターや金融セクターなどで活発な売買を行ないました。また過去に株価が大きく上昇し、時価総額が特に大きくなっていた銘柄の一部には消極姿勢で臨みました。

○今後の運用方針

ロシアとウクライナとの間の紛争に伴ない、欧州を中心に世界的なエネルギー価格高騰や経済成長の減速による景気後退リスクが続いています。欧州では、今後、新たなガス供給契約や新規の発電プロジェクトが実現するまでに何年もかかるとみられます。一方で、電力価格は大きく上昇しており消費者には負担となっています。

中国と台湾の緊張は続いており、平和的な解決が近いうちに行なわれる可能性は低いことを浮き彫りにしています。

米国では、急激な景気後退に対する懸念が2022年4－6月期の市場に影響を与えました。個人消費には弱い部分があるものの、労働市場は力強さが見られます。

このような環境下、金利上昇が有利に働きそして魅力的なバリュエーションにある金融セクターに積極姿勢で臨みます。また米国の複合企業大手のような個別にアップサイドが見込まれる優良企業にも積極姿勢で臨みます。一方で、公益、不動産セクターなどには消極姿勢で臨みます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年9月28日～2022年9月27日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---|---------------------|----------------------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券) | 12 (11) (1) | % 0.033 (0.032) (0.002) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券) | 0 (0) (0) | 0.001 (0.001) (0.000) | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 9 (9) | 0.025 (0.025) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| 合 計 | 21 | 0.059 | |
| 期中の平均基準価額は、36,094円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年9月28日～2022年9月27日)

株式

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|--------|------|----------------------|-------------------------------|---------------------|----------------------------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 外 国 | アメリカ | 百株 3,020 (84) | 千アメリカドル 21,989 (0.358) | 百株 3,583 (-) | 千アメリカドル 22,665 (21) |
| | カナダ | — | 千カナダドル — | 42 | 千カナダドル 703 |
| | メキシコ | — | 千メキシコペソ — | 76 | 千メキシコペソ 689 |

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

| 銘 柄 | | 買 付 | | 売 付 | |
|--------|------------------------------|-----|---------|-----|---------|
| | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 外 国 | アメリカ | 千口 | 千アメリカドル | 千口 | 千アメリカドル |
| | ISHARES CORE S&P 500 -ETF | 4 | 2,094 | 7 | 3,115 |
| | MEDICAL PROPERTIES TRUST INC | — | — | 52 | 1,054 |
| | 小 計 | 4 | 2,094 | 59 | 4,169 |

(注) 金額は受け渡し代金。

○株式売買比率

(2021年9月28日～2022年9月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|-------------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 5,747,674千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 6,108,432千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.94 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年9月28日～2022年9月27日)

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | | | 売付額等 C | | |
|--------|--------------------|---------------|-----------|--------------------|---------------|-----------|
| | うち利害関係人 との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | | うち利害関係人 との取引状況D | $\frac{D}{C}$ | |
| 為替直物取引 | 百万円 269 | 百万円 200 | % 74.3 | 百万円 818 | 百万円 749 | % 91.6 |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年9月28日～2022年9月27日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2022年9月27日現在)

外国株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | | 業 種 等 | |
|-------------------------------|---------|-------|---------|---------|------------------------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (アメリカ) | 百株 | 百株 | 千アメリカドル | 千円 | |
| ALLSTATE CORP | — | 122 | 1,514 | 218,921 | 保険 |
| BECTON DICKINSON AND CO | 57 | 43 | 1,017 | 147,052 | ヘルスケア機器・サービス |
| CARRIER GLOBAL CORP | 288 | 319 | 1,127 | 162,987 | 資本財 |
| CENTENE CORP | — | 179 | 1,395 | 201,609 | ヘルスケア機器・サービス |
| CHEVRON CORP | — | 129 | 1,824 | 263,630 | エネルギー |
| COMERICA INC | — | 148 | 1,086 | 156,963 | 銀行 |
| DEERE & CO | 38 | — | — | — | 資本財 |
| DISCOVER FINANCIAL SERVICES | 165 | 191 | 1,740 | 251,455 | 各種金融 |
| ELANCO ANIMAL HEALTH INC | 234 | — | — | — | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| FIRST HORIZON CORP | 1,229 | — | — | — | 銀行 |
| FIDELITY NATIONAL INFO SERV | 92 | 100 | 777 | 112,405 | ソフトウェア・サービス |
| GENERAL MOTORS CORP | 167 | 248 | 869 | 125,684 | 自動車・自動車部品 |
| GENERAL ELECTRIC CO | — | 111 | 714 | 103,239 | 資本財 |
| INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC | — | 90 | 830 | 120,021 | 各種金融 |
| KEYSIGHT TECHNOLOGIES IN | 41 | 55 | 858 | 124,022 | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 |
| KINDER MORGAN INC | — | 646 | 1,039 | 150,233 | エネルギー |
| KOHL'S CORP | 167 | — | — | — | 小売 |
| ELI LILLY & CO | 48 | 51 | 1,589 | 229,649 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| LINDE PLC | 21 | 40 | 1,072 | 155,000 | 素材 |
| MARTIN MARIETTA MATERIALS | 31 | — | — | — | 素材 |
| MEDTRONIC PLC | 95 | 147 | 1,202 | 173,709 | ヘルスケア機器・サービス |
| MICRON TECHNOLOGY INC | 132 | 148 | 726 | 105,050 | 半導体・半導体製造装置 |
| NEW RELIC INC | 49 | — | — | — | ソフトウェア・サービス |
| OTIS WORLDWIDE CORP | 131 | — | — | — | 資本財 |
| RALPH LAUREN CORP | 59 | — | — | — | 耐久消費財・アパレル |
| REINSURANCE GROUP OF AMERICA | 224 | 239 | 2,929 | 423,376 | 保険 |
| ONEMAIN HOLDINGS INC | 16 | 216 | 631 | 91,206 | 各種金融 |
| TIMKEN CO | 81 | 73 | 437 | 63,165 | 資本財 |
| TORONTO-DOMINION BANK | 71 | 64 | 399 | 57,747 | 銀行 |
| GLOBE LIFE INC | 139 | 132 | 1,311 | 189,551 | 保険 |
| TRANSUNION | — | 90 | 564 | 81,534 | 商業・専門サービス |
| TE CONNECTIVITY LTD | 102 | 93 | 1,059 | 153,127 | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 |
| UBER TECHNOLOGIES INC | — | 204 | 549 | 79,392 | 運輸 |
| UNITED PARCEL SERVICE-CL B | 51 | — | — | — | 運輸 |
| UNITED RENTALS INC | 35 | — | — | — | 資本財 |
| VISA INC-CLASS A SHARES | 66 | 68 | 1,238 | 178,973 | ソフトウェア・サービス |
| WEX INC | 72 | 51 | 655 | 94,793 | ソフトウェア・サービス |
| ADVANCED MICRO DEVICES | — | 111 | 736 | 106,416 | 半導体・半導体製造装置 |
| ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC | 26 | — | — | — | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| AMAZON.COM INC | 4 | — | — | — | 小売 |
| APPLE INC | 189 | 164 | 2,483 | 358,888 | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 |
| APPLIED MATERIALS INC | 152 | 106 | 880 | 127,203 | 半導体・半導体製造装置 |
| ARCH CAPITAL GROUP LTD | 242 | — | — | — | 保険 |
| ARRAY TECHNOLOGIES INC | 225 | — | — | — | 資本財 |
| BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC | 81 | 104 | 854 | 123,514 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| BRIDGEBIO PHARMA INC | 54 | — | — | — | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |

| 銘柄 | 株数 | 当期 | | 期末 | | 業種等 |
|----------------------------|------------------|-------|---------|---------|-----------|------------------------|
| | | 株数 | 株数 | 評価額 | 評価額 | |
| (アメリカ) | 百株 | 百株 | 千アメリカドル | 千円 | | |
| META PLATFORMS INC-CLASS A | 85 | 112 | 1,528 | 220,893 | | メディア・娯楽 |
| FIRST SOLAR INC | 33 | — | — | — | | 半導体・半導体製造装置 |
| COHERENT CORP | 121 | 144 | 530 | 76,631 | | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 |
| IONIS PHARMACEUTICALS INC | 86 | — | — | — | | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| MICROSOFT CORP | 123 | 85 | 2,040 | 294,859 | | ソフトウェア・サービス |
| NETFLIX INC | — | 51 | 1,147 | 165,884 | | メディア・娯楽 |
| REGENERON PHARMACEUTICALS | 6 | — | — | — | | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| WILLIS TOWERS WATSON PLC | 86 | 65 | 1,332 | 192,522 | | 保険 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 5,434 | 4,955 | 40,698 | 5,881,319 | |
| | | 43 | 36 | — | <98.2%> | |
| (カナダ) | | | 千カナダドル | | | |
| INTACT FINANCIAL CORP | 42 | — | — | — | | 保険 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 42 | — | — | — | |
| | | 1 | — | — | <—%> | |
| (メキシコ) | | | 千メキシコペソ | | | |
| GRUPO MEXICO SA-SER B | 842 | 766 | 5,290 | 37,575 | | 素材 |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 842 | 766 | 5,290 | 37,575 | |
| | | 1 | 1 | — | <0.6%> | |
| 合計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 6,320 | 5,721 | — | 5,918,895 | |
| | | 45 | 37 | — | <98.9%> | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

| 銘柄 | 口数 | 当期 | | 期末 | | 比率 |
|------------------------------|------------------|-------|---------|--------|--------|-----|
| | | 口数 | 口数 | 評価額 | 評価額 | |
| (アメリカ) | 千口 | 千口 | 千アメリカドル | 千円 | | % |
| ISHARES CORE S&P 500 -ETF | 2 | 0.227 | 83 | 12,001 | | 0.2 |
| MEDICAL PROPERTIES TRUST INC | 52 | — | — | — | | — |
| 合計 | 口数・金額 銘柄数<比率> | 55 | 0.227 | 83 | 12,001 | |
| | | 2 | 1 | — | <0.2%> | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2022年9月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 株式 | 5,918,895 | 98.2 |
| 投資信託受益証券 | 12,001 | 0.2 |
| コール・ローン等、その他 | 97,929 | 1.6 |
| 投資信託財産総額 | 6,028,825 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(5,959,094千円)の投資信託財産総額(6,028,825千円)に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=144.51円、1カナダドル=105.60円、1メキシコペソ=7.103円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 6,028,825,837 |
| コール・ローン等 | 92,006,360 |
| 株式(評価額) | 5,918,895,223 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 12,001,915 |
| 未収配当金 | 5,922,339 |
| (B) 負債 | 42,581,625 |
| 未払解約金 | 42,581,506 |
| 未払利息 | 119 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 5,986,244,212 |
| 元本 | 1,652,793,977 |
| 次期繰越損益金 | 4,333,450,235 |
| (D) 受益権総口数 | 1,652,793,977口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 36,219円 |

(注) 当ファンドの期首元本額は1,801,751,842円、期中追加設定元本額は110,465,985円、期中一部解約元本額は259,423,850円です。

(注) 2022年9月27日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・日興グラビティ・アメリカズ・ファンド 1,652,793,977円

(注) 1口当たり純資産額は3.6219円です。

○損益の状況 (2021年9月28日～2022年9月27日)

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 104,946,766 |
| 受取配当金 | 85,967,916 |
| 受取利息 | 8 |
| その他収益金 | 18,983,379 |
| 支払利息 | △ 4,537 |
| (B) 有価証券売買損益 | 336,259,790 |
| 売買益 | 2,178,631,114 |
| 売買損 | △1,842,371,324 |
| (C) 保管費用等 | △ 1,542,940 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 439,663,616 |
| (E) 前期繰越損益金 | 4,291,337,318 |
| (F) 追加信託差損益金 | 294,551,278 |
| (G) 解約差損益金 | △ 692,101,977 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 4,333,450,235 |
| 次期繰越損益金(H) | 4,333,450,235 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2021年9月28日から2022年9月27日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。